

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社 セゾン情報システムズ  
 コード番号 9640 URL <http://home.saison.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮野 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 赤木 修  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月31日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3988-3477

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	23,816	11.0	1,872	20.0	1,897	20.1	1,095	13.7
25年3月期第3四半期	21,448	△5.1	1,559	△42.5	1,579	△42.3	963	△31.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,159百万円 (20.5%) 25年3月期第3四半期 962百万円 (△31.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	67.65	—
25年3月期第3四半期	59.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,300	16,720	68.7
25年3月期	25,066	16,160	64.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 16,698百万円 25年3月期 16,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	7.5	3,350	22.9	3,340	22.0	2,050	22.4	126.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	16,200,000 株	25年3月期	16,200,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	217 株	25年3月期	217 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	16,199,783 株	25年3月期3Q	16,199,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策による内需拡大や円安による輸出採算の向上を背景に企業業績は改善しつつあり、また個人消費や設備投資にも増加傾向が見られ、緩やかに回復し始めました。

当社グループが属する情報サービス業界は、クラウドサービス、スマートデバイス、セキュリティ対策、ビッグデータ対応等への関心が高まり新たな需要を生み出すとともに、従来からの受注ソフトウェアやシステム等管理運営受託も前年水準を上回り活性化しつつあり、業界全体に明るい兆しが見え始めました。

このような経営環境において、当社グループは、情報処理サービス、システム開発、パッケージ販売の3分野をバランスよく展開している事業特性を活かし、各事業間のシナジーを高め、既存顧客との取引拡大、新規顧客開拓に努めております。また、クラウド型ホスティングサービスである「SAI SOS(サイソス)」の拡大及びアジアを中心に「HULFT」等のパッケージ製品の海外展開に注力するとともに、開発ツール等の活用により短納期・高品質の製品開発に取組み、事業基盤の拡大を図っております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は23,816百万円(前年同期比11.0%増)、データセンター移転が完了し並行稼働コストが減少したこと等により営業利益は1,872百万円(同20.0%増)、経常利益は1,897百万円(同20.1%増)、四半期純利益は1,095百万円(同13.7%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。以下、セグメント間取引については相殺消去しておりません。

なお、第1四半期連結会計期間より、管理区分の変更に伴い世存信息技术(上海)有限公司の事業セグメントを「その他」から「HULFT事業」に変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

#### ①金融システム事業

売上面においては、大型システム開発案件が堅調に推移したこと、既存顧客向けの情報処理サービスが増加したこと等により、当第3四半期連結累計期間の金融システム事業の売上高は13,208百万円(前年同期比14.6%増)となりました。

利益面においては、システム開発において収益性の低い製造工程に係る開発の割合が多かったこと及び既存顧客向けサービスの領域拡大に向けた取組みに伴うコストの増加等により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は566百万円(同15.4%減)となりました。

#### ②流通サービスシステム事業

売上面においては、新規顧客向けのシステム開発が堅調に推移したものの、既存顧客向けの情報処理サービス及びシステム機器販売が減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の流通サービスシステム事業の売上高は3,259百万円(同1.3%減)となりました。

利益面においては、新規顧客向けのシステム開発により利益は増加したものの、既存顧客向け取引高の減少を補うまでには至らず、当第3四半期連結累計期間は86百万円の営業損失(前年同期は74百万円の営業損失)となりました。

### ③BPO事業

売上面においては、インターネット給与明細照会サービス「Bulas Payslip Mobile」が堅調に推移するとともに、既存顧客のシステム改修等のシステム開発案件が堅調に推移したこと等により、当第3四半期連結累計期間のBPO事業の売上高は1,293百万円(前年同期比11.5%増)となりました。

利益面においては、情報処理サービスに係る運用コスト及び品質改善コストの増加等により、当第3四半期連結累計期間は469百万円の営業損失(前年同期は341百万円の営業損失)となりました。

### ④HULFT事業

売上面においては、当社の主力製品「HULFT」の製品販売は若干落ち込んだものの、保守契約率の向上により保守サービスが堅調に推移したこと及び前連結会計年度末より連結した㈱アプレッソの業績が寄与したこと等により、当第3四半期連結累計期間のHULFT事業の売上高は4,826百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

利益面においては、保守サービスが堅調に推移し利益の底上げが図られたものの、次期製品開発に係る研究開発コストの増加及び㈱アプレッソに係るのれんの償却等により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は1,883百万円(同11.2%減)となりました。

### ⑤その他

その他には㈱フェスを分類しており、売上面においては、医療機関向けシステム運営管理受託及びITIL関連事業が拡大したものの、前連結会計年度に合併した㈱HRプロデュースの受託業務が減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,030百万円(同1.2%減)となりました。

利益面においては、収益性の高い医療機関向けシステム運営管理受託及びITIL関連事業が拡大したこと等により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は162百万円(同22.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より765百万円減少し24,300百万円となりました。主な減少要因は、設備の減価償却等により固定資産が862百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より1,325百万円減少し7,580百万円となりました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金が960百万円減少したこと、リース債務が331百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より559百万円増加し16,720百万円となりました。主な増加要因は、四半期純利益の計上により1,095百万円増加したこと等によるものであります。また、主な減少要因は、剰余金処分による配当財源への割当により利益剰余金が566百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より4.4ポイント増加し68.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月24日付「平成25年3月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,489,313	7,763,424
受取手形及び売掛金	4,769,495	4,063,462
有価証券	299,999	750,404
商品及び製品	2,793	3,851
仕掛品	221,625	297,718
原材料及び貯蔵品	17,194	14,977
未収還付法人税等	131,019	—
繰延税金資産	337,231	345,251
その他	577,468	703,561
貸倒引当金	△594	△547
流動資産合計	13,845,548	13,942,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	667,906	637,763
減価償却累計額	△296,834	△287,651
建物及び構築物(純額)	371,072	350,112
工具、器具及び備品	2,658,988	2,847,748
減価償却累計額	△1,620,957	△1,736,050
工具、器具及び備品(純額)	1,038,030	1,111,697
リース資産	3,494,708	3,503,962
減価償却累計額	△1,229,065	△1,715,874
リース資産(純額)	2,265,642	1,788,088
建設仮勘定	1,205	12,918
有形固定資産合計	3,675,951	3,262,816
無形固定資産		
ソフトウェア	3,031,417	3,037,203
リース資産	485,699	389,744
のれん	810,888	794,860
その他	539	321
無形固定資産合計	4,328,544	4,222,130
投資その他の資産		
投資有価証券	1,161,814	1,207,578
敷金	715,830	511,541
繰延税金資産	606,138	577,580
その他	737,481	581,852
貸倒引当金	△4,750	△4,750
投資その他の資産合計	3,216,515	2,873,803
固定資産合計	11,221,011	10,358,749
資産合計	25,066,560	24,300,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,131,366	1,170,692
リース債務	442,596	426,753
未払法人税等	92,369	548,511
賞与引当金	706,137	549,051
その他	3,331,107	3,145,786
流動負債合計	6,703,578	5,840,795
固定負債		
リース債務	1,135,261	819,806
退職給付引当金	849,655	708,762
長期未払金	76,030	68,200
資産除去債務	141,689	143,267
固定負債合計	2,202,636	1,740,036
負債合計	8,906,215	7,580,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,367,687	1,367,687
資本剰余金	1,462,360	1,462,360
利益剰余金	13,207,922	13,736,910
自己株式	△217	△217
株主資本合計	16,037,752	16,566,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,693	119,615
為替換算調整勘定	2,611	12,620
その他の包括利益累計額合計	70,304	132,235
少数株主持分	52,288	21,044
純資産合計	16,160,344	16,720,020
負債純資産合計	25,066,560	24,300,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	21,448,036	23,816,067
売上原価	17,162,347	18,700,372
売上総利益	4,285,689	5,115,694
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	96	△39
役員報酬	188,076	224,834
従業員給料及び賞与	1,025,714	1,207,369
賞与引当金繰入額	98,183	150,199
退職給付費用	63,179	72,451
福利厚生費	217,893	271,483
減価償却費	163,095	94,129
のれん償却額	—	64,448
その他	969,621	1,158,535
販売費及び一般管理費合計	2,725,860	3,243,411
営業利益	1,559,828	1,872,283
営業外収益		
受取利息	2,298	3,117
有価証券利息	13,993	6,018
複合金融商品評価益	5,729	905
受取配当金	9,049	5,623
補助金収入	3,896	36,720
その他	6,927	8,154
営業外収益合計	41,894	60,538
営業外費用		
支払利息	21,643	16,829
投資事業組合運用損	—	1,325
為替差損	489	1,927
訴訟関連費用	—	15,116
その他	62	1
営業外費用合計	22,195	35,199
経常利益	1,579,527	1,897,622
特別利益		
固定資産売却益	—	10,076
投資有価証券売却益	24,336	—
特別利益合計	24,336	10,076
特別損失		
固定資産処分損	3,112	14,292
投資有価証券売却損	2,898	—
特別損失合計	6,010	14,292
税金等調整前四半期純利益	1,597,853	1,893,406
法人税等	633,926	795,552
少数株主損益調整前四半期純利益	963,926	1,097,854
少数株主利益	—	1,873
四半期純利益	963,926	1,095,980

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	963,926	1,097,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,994	51,922
為替換算調整勘定	1,735	10,009
その他の包括利益合計	△1,259	61,931
四半期包括利益	962,667	1,159,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	962,667	1,157,911
少数株主に係る四半期包括利益	—	1,873

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	金融 システム 事業	流通 サービス システム 事業	BPO 事業	HULFT 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	11,524,256	3,303,981	1,157,951	4,411,806	20,397,996	1,050,039	21,448,036	—	21,448,036
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	2,456	16,499	18,955	1,006,048	1,025,003	△1,025,003	—
計	11,524,256	3,303,981	1,160,407	4,428,305	20,416,951	2,056,088	22,473,040	△1,025,003	21,448,036
セグメント利 益又は損失 (△)	669,417	△74,901	△341,281	2,121,677	2,374,912	132,410	2,507,322	△947,493	1,559,828

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社が行っているシステム運営管理受託・人材派遣等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△947,493千円には、セグメント間取引3,824千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△951,318千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、データセンター増強に伴う並行稼働コストであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	金融 システム 事業	流通 サービス システム 事業	BPO 事業	HULFT 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,208,537	3,257,720	1,291,618	4,811,030	22,568,906	1,247,160	23,816,067	—	23,816,067
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,188	2,197	15,762	20,148	783,706	803,854	△803,854	—
計	13,208,537	3,259,908	1,293,815	4,826,793	22,589,055	2,030,866	24,619,922	△803,854	23,816,067
セグメント利益又は損失(△)	566,406	△86,876	△469,900	1,883,682	1,893,312	162,252	2,055,565	△183,282	1,872,283

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社が行っているシステム運営管理受託・人材派遣等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△183,282千円には、セグメント間取引3,186千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,469千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた世存信息技术(上海)有限公司の事業セグメントについて、管理区分の変更により「HULFT事業」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。